八代市坂本町深水地区　復興まちづくり計画（素案）

■復興に向けた課題

課題1　避難場所・設備、避難路の整備による防災能力の向上

被害のあった道路や河川等の早期復旧を進めるとともに、安全・安心して避難活動ができるよう避難場所及び設備の拡充と避難路の整備を図る必要があります。

地区別懇談会などでの意見

- 道路を早期復旧して欲しい
- 道路の拡幅が必要
- 道路や川床に土砂が堆積しており、二次災害の危険性もあるため撤去して欲しい
- 深水川の落石を撤去して欲しい
- 避難路の整備を短期で対応できる所から進めて欲しい
- 孤立した際の避難手段としてヘリポートを整備して欲しい
- 定期的に周辺の河川、山林の点検が必要
- 砂防ダムの整備が必要
- 避難場所の再検討が必要
- 防災無線等の通信手段の整備と定期的な点検が必要　等

課題2　観光資源を活かした活気ある地区づくり

「走水の滝」を有す観光地としての潜在力を活かし、観光振興や地区内外の交流を促進し、活気ある地区づくりを進める必要があります。

地区別懇談会などでの意見

- 山の神祭や田舎暮らし体験等のイベントを地区で開催していくことが必要
- 走水の滝の看板設置や道路整備が必要
- 走水の滝を管理するため担い手の確保が必要
- 地区でウォーキング等のイベント開催や施設の点検・周辺道路の整備に取り組んでいる　等

課題3　地区の利便性向上による人口誘導

八代市街へのアクセス性を活かすとともに、空き家の活用や働く場の確保により、若者世代をはじめ人口の誘導を進める必要があります。

地区別懇談会などでの意見

- 若い人が戻れる、住んでくれるよう受け皿の整備が必要
- 移動販売車等、日常の購買活動を支援する取り組みの検討が必要
- 空き家を活用する等、住む場所の確保が必要
- 働く場所の確保が必要
- 利用しやすい公共交通を整備して欲しい　等

■復興まちづくりの目標

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□なまち 深水

○○。

課題を解決することで地区が目指すべき姿（キャッチフレーズ）を検討ください。

■復興まちづくりプロジェクト（地区における取り組み）

プロジェクト1　防災能力・安全性向上プロジェクト

○被害のあった道路や河川、深水橋の復旧を早急に進めるとともに、今後の災害に備え、迂回路となる林道等の整備やヘリコプターの離発着等、安全な避難手段・経路を確保します。また、避難所及び設備を拡充し防災能力の向上を目指します。

【具体的な取り組み】

河川の安全性向上	・護岸の復旧や、河川内の土砂等の撤去を進めることで、災害に対する安全性を高めるよう、取り組みを進めます。
道路の安全性向上	・日常の生活や経済活動の基盤となり災害時には避難ルートとしての役割も果たす道路の安全性向上に向けて、国・県道について要望を行うとともに、市道等については住民との連携により取り組みを進めます。
避難所の確保と避難情報の伝達	・地区内の避難所を確保するとともに、避難行動要支援者（高齢者等）への対応、災害時の情報伝達手段を確保します。（災害時のヘリコプター臨時発着場：深水社会教育センター）
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

プロジェクト2　地区の観光資源活用・イベント支援プロジェクト

○走水の滝を観光振興の呼び水とするとともに、地区で実施する観光地周辺の環境整備や地区主体のイベント開催等の支援を推進します。

【具体的な取り組み】

祭りの振興・復活	・地区に伝わる祭りの振興や復活により、コミュニティを活性化し、出身者が地区に関わる機会や地区外との交流を促進します。
地区の資源を活用した取り組み	・走水の滝、田舎暮らし体験など、地区の資源を活用し、賑わいづくりを進めます。
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

プロジェクト3　住みたくなる地区創出プロジェクト

○地区に若い世代を呼び込むため、空き家の活用や八代市街へのアクセス性を活かす公共交通を整備し、住環境の向上を推進します。

【具体的な取り組み】

空き家バンク制度の活用	・空き家バンク制度を活用した取り組みを促進します。また地区において、空き家を活用した取り組みを進めます。
生活利便施設への連絡	・地区の生活を支える商業や医療施設等、生活利便施設への移動手段の確保を図ります。
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

ページ左の「復興まちづくりの目標」を実現するために必要な取り組み（プロジェクト）について検討ください。

※ 第２回地区別懇談会やこれまで地域の皆様からいただいたご意見をもとに作成した素案であり、未調整事項も含みます。